

NEWS LETTER

2021.3.31
第3号



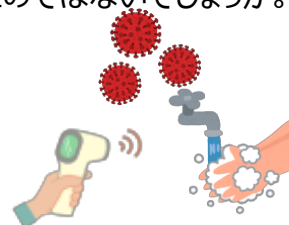
編集発行: 一般社団法人 福岡県言語聴覚士会 失語症サポート委員会
県士会事務局: 麻生リハビリテーション大学校 灘吉享子 TEL 080-1776-5108

皆さん、お元気ですか？



事業3年目の2020年度は、新型コロナウイルスの感染拡大で、世界中が大変な年でした。感染者の増加、医療体制の逼迫、緊急事態宣言の発令、休校、五輪の延期などなど。福岡県でも緊急事態宣言が2度に渡って出されました。皆さんも様々な制約や不安の中で、身近な方と心身の維持に努められたのではないのでしょうか。

さて、残念ながら失語症支援者養成事業は2020年度に予定していた養成研修（必修・選択）は行えませんでした。全国的にも一部を除き同様の状況でした。「対面・集団」の実習の実施には、感染拡大状況下では慎重な判断が求められました。



2021年度は、感染状況とワクチン接種状況などをみながら、第3回の養成講座を計画しています。また派遣事業開始に向けての整備や研修も予定しています。（p2～3 参照）

福岡県内の「失語症の方の会話の場」の多くは休止していましたが、感染予防策を講じて活動を再開したり、リモートで会話の機会を試みたりと、コミュニケーションを工夫しておられます。冷静に、出来ることを、一步一步積み重ねていこう、皆さんと力を合わせたいと思います。

会話のワンポイントアドバイス 3 「感染症流行下のコミュニケーション」

- ①会う日に備えて体調管理に努め、会話時の感染予防策を身に付けましょう
- ②スマホ・パソコンを用いた新しいコミュニケーション手段にも挑戦してみましょう
- ③対面／リモートともに、失語症の方との「会話の基本」を忘れずに
例えば○ゆっくり、ご様子を見て、理解と意思を確認 ×早い、一方的



このニューズレターは、より良い支援のため、支援に関わる人がつながるために、養成研修（講座・実習）の様子、失語症関連情報などをご紹介します。

※バックナンバー（第1,2号）とともに福岡県言語聴覚士会HPに公開しています

難しかった経験、悩み、良かったこと、工夫を共有しましょう。スタッフにも声をかけて下さい。 県士会委員一同

P1: ご挨拶、構成

P2～3: 2020（令和2）年度全国（各県）の状況
アンケート調査結果（日本言語聴覚士会まとめ）

P4: 失語症の方との交流の場 状況報告

P5: 「失語症の日」イベント（福岡県）

4月18日（日）午前 Zoom参加のご案内

P6: 失語症の日（全国/4月25日）※動画配信のご紹介

内容/写真の無断転載はご遠慮ください

日本言語聴覚士協会のまとめた 支援事業の全国での状況 をご紹介します

p2

「2020（令和2）年度失語症者向け意思疎通支援事業実施状況アンケート調査結果」より抜粋

2020年2月16日

一般社団法人日本言語聴覚士協会

調査対象：都道府県言語聴覚士会（47士会）

調査期間：2020年12月～2021年1月

I 支援者養成研修について

Q1 支援者養成研修を実施したことがありますか
（平成30～令和2年度）

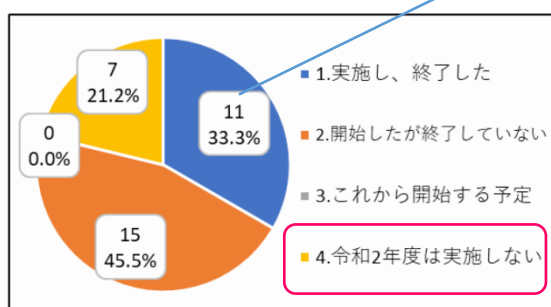


福岡県言語聴覚士会の回答

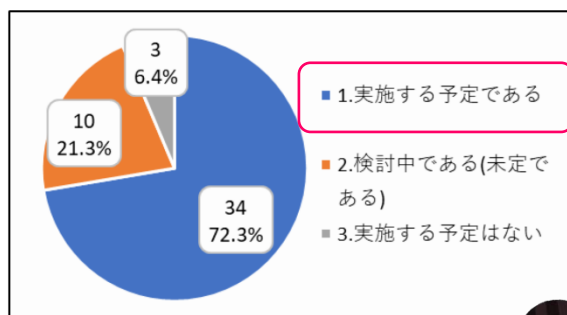
新型コロナの影響で減少しています



Q3 令和2年度の支援者養成研修実施状況



Q4 令和3（2021）年度の支援者養成研修



⇒講義の実施方法 ※実施する予定の34士会対象

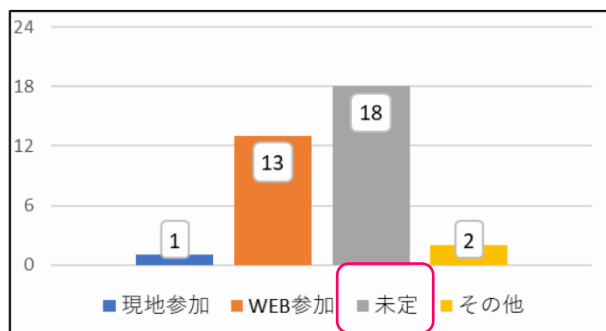


⇒“その他”の記載内容

- ・ 現地講義とWEB講義のハイブリッド
- ・ WEBと現地のハイブリッド
- ・ 新型コロナ感染の状況によるが、現地参加主体のハイブリッド
- ・ 座学部分はオンデマンド配信、コミュニケーション支援技法を含む講義実習は現地参加で行う



⇒実習の実施方法 ※実施する予定の34士会対象



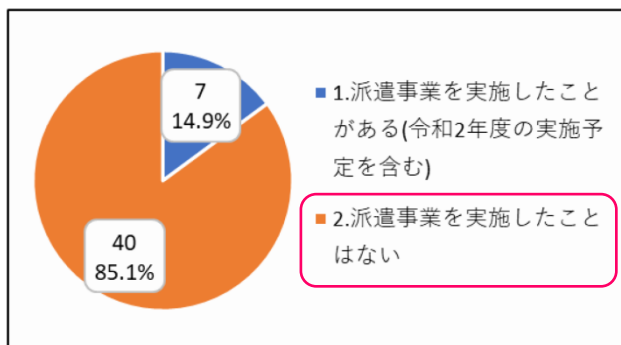
⇒“その他”の記載内容

- ・ 新型コロナ感染の状況によるが、WEB参加主体のハイブリッド
- ・ 現地参加を目指しているが、状況次第。



Ⅱ 支援者派遣事業について

Q 5 これまでに支援者派遣事業を行ったことがありますか



Q 5-1 これまでに実施した派遣の内容をすべて選択してください

※実施したことがある7士会からの回答（複数選択；カッコ内は回答数）

サロン(友の会) (5)	交通機関利用 (2)	買物 (1)	病院受診 (4)
サロン(友の会)以外での打合せ (1)	銀行 (0)	役所 (0)	郵便局 (0)
映画演劇展覧会鑑賞 (1)	行楽 (0)	その他 (1)	

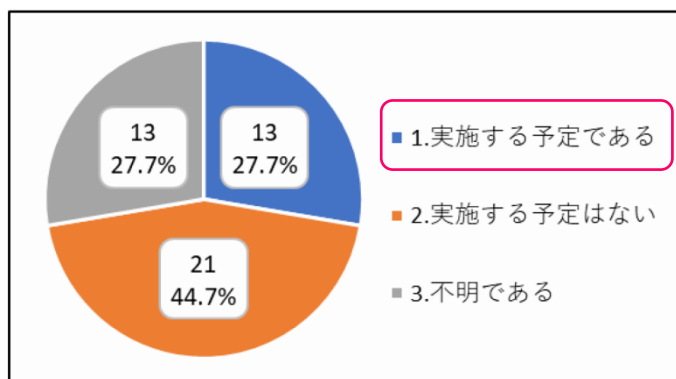
☐ : 福岡県言語聴覚士会の回答

⇒令和2年度の派遣事業で特に考慮している点

- ・コロナ感染症のため、派遣事業の開始が遅れた／外出制限があり派遣事業の実施が難しい／友の会が開催されていない
- ・書類の記載が煩雑
- ・保険の活用なし
- ・派遣中の有事の際の保証がない。
- ・支援者のスキルに個人差があり、マッチングが偏る。
- ・登録者数（実働可能数）が少ないため特定の支援者に依頼が集中する。
- ・支援者の会話支援スキルが求める水準にまで達しておらず、派遣事業として成り立ちにくく、支援者（修了者）向けのフォローアップ研修の必要性を強く感じた。
- ・日々の通常業務の合間にマッチング作業・連絡作業までをこなすのが困難。



Q 8 令和3年度派遣事業の実施予定について

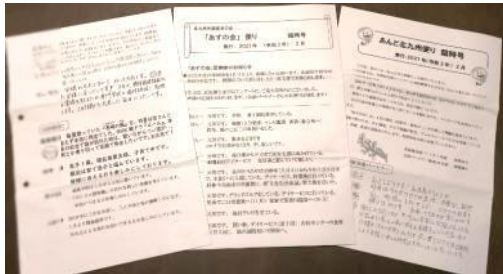


⇒令和3年度の派遣事業で特に考慮している点

- ・感染対策
- ・コロナ感染問題
- ・外出時などの感染対策
- ・事務所の開設、事務員の確保
- ・事業運営の方法、人材の確保及び支援者の質の担保
- ・事務所機能をどうするかなどのシステム作りと運用について
- ・2カ所に事業によるサロンを開設し、そこに当事者と支援者をマッチングし会話支援を予定しているが、当事者が集められるか、会場が今後も確保可能か、など未確定なものが多い。そこを運営管理するSTの数も養成と同時並行で足りるのが非常に不安。
- ・保険の導入
- ・数は少なくとも派遣実績を残す。
- ・実績を増やすためのPR活動に注力する。支援者のフォローアップ研修の実施（実技を含む）。支援者の会を設立し情報共有できる仕組みを作る。
- ・各市町村との協議
- ・まだ、予算が限られているため、1年間で行える派遣回数に限られており、同一の方からの複数回の申請に対してどのように他の方々と平等を保つかについて考慮している

あすの会(ウエルとばた)

毎月第2日曜



例会は1年間休止でした。

年末に郵送で近況を伺い、2月に「あすの会 便り臨時号」「あんど北九州便り臨時号」を発行。「顔を思い浮かべて読み、元気が出ました。早く会いたい」という声を伺いました。

2021年4月から午前のみで再開予定です。

筍の会(小倉リハビリテーション病院)

奇数月 第2土曜午後



パソコンやスマホ画面でお顔を見ながら話しました

2021年2月13日(土)

集合しての会が行えない中、11月に紙面、2月にオンライン(ZOOM/ズーム利用)にて開催しました。初めての試み、何とか無事に予定した全員が参加。およそ1年ぶりに顔を合わすことができ、話は尽きませんでした。「出来ることからやろう」の精神で来年度も活動を継続していきます。

北九州市立障害福祉センター

集団言語リハビリ交流教室 毎週木曜午前



教室は現在も休止中ですが、毎月「ことばのリハビリ通信」を発行し、家庭で出来るリハビリや教室参加者の近況をご紹介します。

年末から年明けには参加者のご自宅に電話して話すことができました。2021年度は教室を再開できるよう、準備を進めています。

失語症サロン(ふくふくプラザ)

毎月第3日曜午前



画面に映った言語聴覚士とインターネット(Zoom)でつないでやりとりしています

2021年3月21日(日)

緊急事態宣言期間は一時休止しましたが、コロナ対策(消毒+マスク+フェイスシールド等)を行い9回開催。お休みの方もいますが、毎回出席の方も。会えることを喜び、楽しい時間を過ごしています。2, 3月にはZoomで会話やクイズを楽しみました。

虹の会(福岡リハビリテーション病院)

2020年度はコロナで活動を自粛しましたが、今年度は時期をみて開催予定です。



多くの方に活動を知ってもらえるよう『虹の会公式LINE』を作りました!!

会の活動や失語症関連情報をアップする予定です。

よろしければ、参加登録頂き虹の会LINEグループを覗いてみてください!!



QRコードをスマホで読み込んで下さい

柳川失語症交流会(柳川リハビリテーション病院)



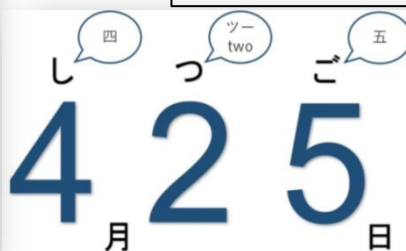
今年度は『柳川からのかわら版』を夏秋冬の3期にお配りする形となりました。また集合してお話できるように準備を進めております。

2021年 今年も来ました！ 4月25日は「失語症の日」です
(2020年1月7日登録)

p5

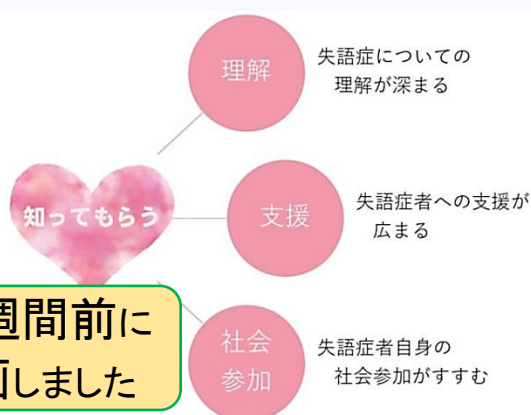


失語の日制定委員会HPより転載
https://peraichi.com/landing_pages/view/425



ロゴは4月25日を表現
それぞれの口の形 (し つ ご) にもご注目！

知ることではじまる



八島三男前会長
NPO法人
日本失語症協議会

福岡県では1週間前に
イベントを企画しました

失語の日に向けてみんなとインターネットで繋がろう！

4月18日(日)午前11時00分～30分(10時半～入室できます)
「失語症サロン (ふくふくプラザ/福岡市)」発の
Zoom(ズーム=オンラインでの会合)に参加しませんか？

とにかく
挑戦！

県内の失語症友の会・サロンの方々、支援者、言語聴覚士ほかの
皆さんをインターネットでつなぎます

Zoomに参加できたら、会場の様子を見て聴いてお待ち下さい
11時からスタート予定です
会話(最近印象に残ったニュース3つ)やゲームを楽しみましょう

- ①まずインターネット環境・Wi-Fi環境と受信機器(スマホ・パソコン)を準備
- ②Zoomをインストールします
- ③10時半以降 Zoomの「ミーティングに参加する」をタップまたはクリック
- ④ミーティングID: 885 6285 4974 パスコード: 946144 を入力し、入室許可を待つ下さい
- ⑤(許可が下りると)画面に会場や他の参加者が映ります
(★データ通信量=費用にご注意下さい)



YouTube配信が計画されています

※動画配信はWi-Fi・インターネット環境と受信機器（パソコンやスマホ）を準備し、配信アドレス（URL）を確認すれば、パソコンやスマホで見られます。（データ通信量＝費用にご注意下さい）

仲間とつながる

4月25日は失語症の日



みなで考え みなで変えていく

YouTube

NPO法人Reジョブ大阪のYouTubeチャンネルにて！

<https://www.youtube.com/channel/UCWJxK7cCTqNJCT4ugk30SZA>

オンラインイベント

2021.4.25(SUN) 13:30~15:30（予定）

テーマ 失語症と社会資源・社会支援

失語症のある方が生きやすくなるためには、社会資源・支援をどう活用するといったのか。また今ある制度では何が足りないのだろう。そんなテーマで、失語症を取り巻く様々な立場の方からお話を伺います。



時間になったらここにアクセス！

登壇者（予定・順不同）

- 1 立石雅子 一般社団法人日本語聴覚士協会
- 2 高濱美佐子 首都医校
- 3 鈴木美代子・平松寛・山木田文子
失語症友の会「こだまの会」
- 4 西脇恵子 東京都言語聴覚士会
- 5 田中昌明・加代子
就労継続支援B型事業所とーくゆうゆう
- 6 黒澤武史 若い失語症者の集い
- 7 馬淵敬 若い失語症者の集い
- 8 平澤哲哉 在宅言語聴覚士
- 9 安居和輝 一般社団法人ことばの道
- 10 西村紀子 NPO法人REジョブ大阪
- 11 橋本ゆかり 音楽療法士
- 12 森 誠司 失語症漫才コンビ「のんベエーズ」
- 13 関和義 当事者家族



仲間やグループでイベント！

【開催例1】
各自自宅で視聴。終了後、意見交換会をオンラインで
【開催例2】
1時に集合し皆で視聴。終了後、意見交換会など

COVID19対策
感染状況は地域によって異なります。皆で集まって視聴する場合は、開催地域の基準に従って、消毒、検温、マスク着用、換気などを行い、安全にご視聴ください。特に、失語症のある方は、基礎疾患のある場合が多いので、十分に留意ください。

失語症の日制定委員会

失語症の日



後援

失語症の日制定委員会HPより転載